

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 125 2008. 6. 16

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内
 日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238
 E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei

日本教育情報学会第24回年会

8月19日(火)～20日(水)【大妻女子大学】において開催!

年会テーマ ～ 新しい教育の波 ～

本年度の第24回年会は、大妻女子大学の多摩キャンパスを会場に開催いたします。余すところ約2ヶ月となりました。実行委員会一同、精一杯の準備を進めております。発表される方のみならず、多くの方の参加を心よりお待ちしております。

今回も昨年同様に多数の方々に研究発表の申し込みを頂きました。また、多くの方のご協力も頂きました。深く感謝いたします。

次は論文と参加のお申し込みです。下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きしていただきますようお願いいたします。多数のご参加を心よりお待ちしております。

参加申し込み受付中（事前参加受付8月4日まで）

参加申込方法

同封の郵便振替用紙が申込書を兼ねます。必要項目を記入し、郵便局の窓口またはATM、APMで手続きください。（学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください）

郵便振替口座番号：00160-5-262662

口座名：日本教育情報学会第24回年会

◆事前申込者

参加費3,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円

◆当日申込者

参加費4,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円

詳しくは、12ページ「参加申込方法」をご覧ください。

年会事務局（問合先）

〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1 大妻女子大学 社会情報学部

日本教育情報学会第24回年会実行委員会 実行委員長 本郷 健

Tel:042-339-0058（直通）

E-mail:t_hongo@otsuma.ac.jp

*** 日本教育情報学会第24回年会のご案内 ***

期 日：2008年8月19日（火）・20日（水）
 主 催：日本教育情報学会
 後 援：東京都教育委員会，埼玉県教育員会，多摩市教育委員会，（財）松下教育研究財団，
 （財）学習ソフトウェア情報研究センター，（財）コンピュータ教育開発センター
 会 場：大妻女子大学 多摩キャンパス
 所在地 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1
 交通 小田急多摩線「唐木田駅 下車 5分」
<http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/>
 年会テーマ：「新しい教育の波」

日程（時間は予定）

8月19日(火) 1日目	
9:30～	受付開始
10:30～12:00	基調講演 「新教育課程の目指す学力と人間力の育成」 市川伸一（東京大学大学院 教授）
12:00～13:00	昼食・休憩（理事会・評議員会）
13:00～14:00	総会・学会賞表彰式
14:00～15:30	パネル討論 「学校教育における近未来のICT活用」 中川一史（メディア教育開発センター） 他4名
15:30～17:30	セッション1 課題研究2（1） 課題研究1（1） 一般研究1
18:00～	懇親会

8月20日(火) 2日目		
9:30～	受付開始	
10:00～12:00	セッション2	課題研究2（2） 課題研究1（2） 課題研究3 課題研究4
12:00～	昼食・休憩	
～13:30	各研究会フリートーキング	
13:30～15:30	セッション3	課題研究5 一般研究発2 一般研究発3 一般研究発4
15:30～17:30	セッション4	一般研究発5 一般研究発6 一般研究発7 一般研究発8

基調講演の時間は確定ではありません。課題研究・一般研究発表(1)が午前中で、基調講演が午後になるかもしれないことをご了解ください。

*** 発表会場のご案内 ***

日付	時間	A会場 6153 教室	B会場 6213 教室	C会場 6220 教室	D会場 6250 教室
19日(火)	15:30~17:30	課題研究 2 (1)	課題研究 1 (1)	一般研究 1	
20日(水)	10:00~12:00	課題研究 2 (2)	課題研究 1 (2)	課題研究 3	課題研究 4
	13:00~13:30	研究会 1	研究会 2	研究会 3	研究会 4
	13:30~15:30	一般研究 2	一般研究 3	一般研究 4	課題研究 5
	15:30~17:30	一般研究 5	一般研究 6	一般研究 7	一般研究 8

8月19日(火)

15:30~17:30【セッション1】

課題研究 2	デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題 (1)	A会場 (6153教室)
課題研究 1	教職開発 (1)	B会場 (6213教室)
一般研究 1	情報システムと教科教育	C会場 (6220教室)
一般研究	予備	D会場 (6250教室)

8月20日(水)

10:00~12:00【セッション2】

課題研究 2	デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題 (2)	A会場 (6153教室)
課題研究 1	教職開発 (2)	B会場 (6213教室)
課題研究 3	支援技術による教育のユニバーサル化 ～特別支援教育の向上を目指して～	C会場 (6220教室)
課題研究 4	子どもの「読む・調べる」と学校図書館	D会場 (6250教室)

13:00~13:30【フリートーキング】

研究会 1		A会場 (6153教室)
研究会 2		B会場 (6213教室)
研究会 3		C会場 (6220教室)
研究会 4		D会場 (6250教室)

13:30~15:30【セッション3】

一般研究 2	e-ラーニング	A会場 (6153教室)
一般研究 3	FDと教師力の向上	B会場 (6213教室)
一般研究 4	教科教育におけるICT活用	C会場 (6220教室)
課題研究 5	ICT利用支援と情報モラル	D会場 (6250教室)

15:30~17:30【セッション4】

一般研究 5	教育支援システム	A会場 (6153教室)
一般研究 6	情報教育と情報モラル	B会場 (6213教室)
一般研究 7	大学でのICT活用	C会場 (6220教室)
一般研究 8	情報教育	D会場 (6250教室)

基調講演

「新教育課程のめざす学力と人間力の育成」

市川 伸一(東京大学大学院 教授)

[趣旨]

21世紀に入り、日本の教育は根本的な課題の一つである学力の問題に再び直面しています。2002年に、確かな学力の向上のための2002アピール「学びのすすめ」が打ち出されて、はや6年が経とうとしています。その間に実施されたさまざまな学力調査の結果は今更述べるまでもなく、深刻な課題を浮き彫りにしてきました。基礎学力や学習意欲の向上はもちろんですが、これからの教育では、活用・探究の力、さらに、社会の中で生き、社会をつくっていく「人間力」が求められています。

基調講演では、内閣府「人間力戦略研究会」の座長として報告書をまとめられ、また「中央教育審議会教育課程部会」や「全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議」の委員でもある東京大学大学院教育学研究科教授の市川伸一先生に、審議会・委員会などでの議論に触れながら、学力・人間力を巡る問題についてお話いただく予定です。市川先生のご専門の心理学の視点から、教育情報研究との関連性や情報教育、ICTの教育利用、また政策や社会への示唆などいただければと考えております。

教育情報や情報教育に携わる教員及び研究者一人ひとりが学力問題をどのようにとらえ、どのようにかかわっていくのか、行動していけばよいのかを考える機会になればと願っています。

パネル討論

テーマ「学校教育における近未来のICT活用」

[コーディネータ] 中川 一史(メディア教育開発センター)

[パネリスト]

- 1) 秋元大輔(船橋市教育委員会)
- 2) 太田 泉(パイオニアソリューション株式会社)
- 3) 中橋 雄(武蔵大学社会学部)
- 4) 本岡 朋(和歌山市立有功東小学校)

[趣旨]

現在、教育の現場においては、さまざまなICT機器が導入され、授業における学力向上や校務の効率化をはかっている。しかし具体的に、どのような先進事例があり成果をあげているのか、また課題は何なのか、について、情報が共有されているとは言えない。そこで、特に初等中等教育におけるICT活用の先進的な試みをされている研究者、企業担当者、現場教員等をお招きし、事例の実際と、ねらい・工夫、課題などについてお話いただく。また、学校教育における近未来のICT活用の今後の可能性、発展性についても考えていきたい。

課題研究テーマ

課題1 教職開発

コーディネータ：林 徳治（山口大学） 沖 裕貴（立命館大学）

教職員に求められる資質能力は、授業力、評価力に加え、組織変容にいかにか寄与できるかといった組織力など広義的な内容に変容している。初等中等教育における教員免許更新に伴う講習科目内容・方法や評価、高等教育におけるFDの義務化に伴う内容・方法・評価に加え今後の人材育成など山積された課題は多い。

本セッションでは、校種を問わず、今後教職に携わる人材として求められる資質能力について考察し、先進的・試行的に取り組まれている実践事例を通して議論を深めたい。

課題2 デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題

コーディネータ：久世 均（岐阜女子大）

情報社会の進展に伴い、デジタル・アーカイブの対象は、博物館や美術館等の文化財を中心とされてきた時代から、地域に関わる文化活動・行政や企業等の資料・管理・公開へと新しい展開が行われてきた。しかし、このようなデジタル・アーカイブの制作、流通、活用には、著作権、プライバシー、個人情報保護等の問題、及びその評価やデジタル・アーカイブに関する人材育成など運用面での新しい課題がでてきた。ここでは、このようなデジタル・アーカイブに関わる問題点や人材育成に関する課題を議論し、今後のデジタル・アーカイブの展開についての方向性を考える。

課題3 支援技術による教育のユニバーサル化～特別支援教育の向上を目指して～

コーディネータ：太田 容次（国立特別支援教育総合研究所）

このセッションでは、支援技術（AT）等の活用により障害のある人の活動や参加を支援するための教育実践等の教育情報と、それらを結びつけるための教育情報のあり方について議論したい。具体的には、様々な教育的ニーズのある子どもの教育に対応した教育実践等の教育方法や、それらをつなぐネットワーク等について考えたい。

課題4 子どもの「読む・調べる」と学校図書館

コーディネータ：野末 俊比古（青山学院大学）

学校図書館は今、図書からインターネットまで、多様なメディアを活用できる「メディアセンター」として、読書習慣・能力の育成（読書教育）や情報活用能力・課題解決能力の育成（調べ学習・情報リテラシー教育）などにおいて役割を果たすことが期待されている。役割を果たすためには、読書材・学習材・教材の整備や司書教諭・学校司書による指導などが適切になされることが重要となる。学校図書館をめぐる現状や課題などについて、政策・制度、歴史、理論、事例など、多様な側面から検討していきたい。

課題5 ICT利用支援と情報モラル

コーディネータ：堀口 秀嗣（常磐大学）

ICT利用環境は単にブラウザやマイクロソフトのofficeに代表されるビジネスソフトだけで効果的にできるわけではない。デジタルポートフォリオやeラーニングなど教育用ソフトウェアを利用したり、コンテンツを自作するなどして学習内容や児童生徒に合った学習活動を実現している。そのような授業実践やコンテンツ開発、ソフトウェア開発などについてご報告いただく。また、このような授業での利用は常に著作権や肖像権、個人情報保護などを遵守しなければならない。情報モラルを児童生徒学生にどのように教えていくかと、教員がどのような点に留意しているかをご紹介いただく。

発表一覧（日程・会場順）

申込みを受付けている発表（講演者・題目）は、以下の通りです。

本リストは案で、発表者の追加・キャンセルなどでセッション・発表順などが多少変更になることがございます。最終プログラムは次号 Newsletter でお知らせいたします。

（課題研究2） デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題（1） 19日（火） 15:30～17:30 A会場（6153 教室）

- 1 A 1 デジタル・アーカイブのメタデータの GPS（位置情報）の利用と教材管理
佐藤正明(岐阜女子大学), 大木佐智子, 後藤忠彦, 久世均, 林知代(岐阜女子大学)
- 1 A 2 長野県デジタルアーカイブの基本構想～21 世紀の知のプラットフォーム構築を目指して～
中沢文子(長野県企画部), 久世均(岐阜女子大学), 前川道博(長野大学)
- 1 A 3 アーカイブ指向 SNS を適用した体験学習プログラムベース教材開発モデル
前川道博(長野大学)
- 1 A 4 地域の伝承文化・次世代に引き継ぐ地域活動をアーカイブする
伊勢博(岐阜女子大学), 久世均(岐阜女子大学)
- 1 A 5 デジタル・アーカイブを用いた地域間資料の教材化
～沖縄のエイサー, じゃんがら踊りのオーラルヒストリーから～
長尾順子(沖縄教育庁), 三宅茜巳, 加藤真由美(岐阜女子大学)
- 1 A 6 学習者の目的に応じた多視点映像教材の開発研究
久世均(岐阜女子大学), 東海幸恵(岐阜女子大学)

（課題研究1） 教職開発（1） 19日（火） 15:30～17:30 B会場（6213 教室）

- 1 B 1 AHP を活用した同僚評価(教師間)による授業評価アンケートの活用に関する実証研究
武田正則(山形県立東根工業高校)
- 1 B 2 全国私立大学 FD 連携フォーラムによる系統的 FD プログラムと日本版高等教育専門性基準の開発
沖裕貴(立命館大学), 加藤善子, 野田文香(立命館大学), 林徳治(山口大学)
- 1 B 3 教員のコミュニケーション能力の向上を図るファシリテータ育成研修モデル開発
林徳治(山口大学), 井上史子(スラタニラチャパット大学)
- 1 B 4 学生参加型授業による課題解決に関わるコミュニケーション能力の育成
横田学(京都市立芸術大学)
- 1 B 5 実践研究者としての現職教師を育成する夜間・遠隔大学院のカリキュラム
加藤直樹(岐阜大学), 益子典文, 村瀬康一郎(岐阜大学)

（一般研究1） 情報システムと教科教育 19日（火） 15:30～17:30 C会場（6220 教室）

- 1 C 1 学校における先進的な ICT 環境の整備と学習効果
井口磯夫(十文字学園女子大学), 堀田博史(園田学園女子大学), 藤谷哲(目白大学), 佐藤弘毅(名古屋大学), 下川雅人(日本視聴覚教育協会), 佐藤喜信(内田洋行教育総合研究所), 梅香家絢子(内田洋行教育総合研究所)
- 1 C 2 複数の ICT 機器を円滑に活用するための簡易型コントローラの効果
堀田博史(園田学園女子大学), 井口磯夫(十文字学園女子大学), 藤谷哲(目白大学), 佐藤弘毅(名古屋大学), 下川雅人(日本視聴覚教育協会), 佐藤喜信(内田洋行教育総合研究所), 梅香家絢子(内田洋行教育総合研究所)

- 1 C 3 ICT 機器・教材を活用したデジタル指導案と WEB 検索 DB の開発
佐藤喜信(内田洋行教育総合研究所), 井口磯夫(十文字学園女子大学), 堀田博史(園田学園女子大学), 藤谷哲(目白大学), 佐藤弘毅(名古屋大学), 梅香家絢子, 山田智之(内田洋行教育総合研究所)
- 1 C 4 携帯ゲーム機 (PSP2000) とプロジェクタでの一斉提示型 Web 用 Flash 教材の開発と実践
坂井岳志(世田谷区立八幡小学校), 鳥羽純(世田谷区立武蔵丘小学校), 岩下幸広(学習過程研究会), 安池徹(日野市立潤徳小学校), 小山万作(世田谷区立深沢小学校), 木下昭一(聖徳大学)
- 1 C 5 位置情報を記録したデータベースの構成と活用(1)
佐藤正明(岐阜女子大学)
- 1 C 6 学習を補佐するデジタルアーカイブ
竹中洵治(岐阜女子大学大学院)
- 1 C 7 地域と協力した児童の安全を守るシステムの開発「児童の発信器から保護者・地域の方へ危険情報の発信」
山下成明(さいたま市立鈴谷小学校)
- 1 C 8 協同学習を通しての中等教育学校英語科カリキュラム編成上の課題
高木浩志(神戸大学発達科学部附属住吉中学校)

(課題研究2) デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題(2) 20日(水) 10:00~12:00 A会場(6153教室)

- 2 A 1 多地点同時撮影を用いたデジタル・アーカイブの開発と教育利用
林知代(岐阜女子大学), 久世均, 後藤忠彦, 久田由莉(岐阜女子大学)
- 2 A 2 デジタル・アーカイブを活用した美術鑑賞教育～鑑賞レパトリーの観点より～
谷口由美子(京都市立芸術大学), 横田学(京都市立芸術大学)
- 2 A 3 国立女性教育会館女性アーカイブ公開に関する研究
江川和子(国立女性教育会館), 安達一寿(十文字学園女子大学)
- 2 A 4 デジタルアーカイブと知的財産
世良清(三重県立四日市商業高等学校)
- 2 A 5 撮影条件(方向, 位置)に着目したデジタル・アーカイブのメタ情報記録
～地域資料の情報カテゴリーの構成～
谷里佐(岐阜女子大学), 成瀬育美, 久田由莉, 後藤忠彦(岐阜女子大学)
- 2 A 6 社会人のためのデジタル・アーキビスト教育プログラムの実践報告
三宅茜巳(岐阜女子大学)

(課題研究1) 教職開発(2) 20日(水) 10:00~12:00 B会場(6213教室)

- 2 B 1 中国貴州省における生徒参画型数学授業モデルの開発・評価
北村光一(山口大学大学院), 林徳治(山口大学)
- 2 B 2 Development of ICT training model for in-service teachers in Nicaraguan schools
JaderRodriguez(山口大学), 林徳治(山口大学)
- 2 B 3 校長・教頭等を対象としたコミュニケーション能力の開発を図る研修プログラムの総括的評価
黒川マキ(大阪学院大学), 林徳治(山口大学)
- 2 B 4 学校教育専攻の大学院生を対象とした学生参画型授業モデルの実践
林徳治(山口大学), 黒川マキ(大阪学院大学)
- 2 B 5 学生参画型授業モデルの開発に関する実証研究の総括的評価
藤本光司(宝塚市立長尾中学校), 林徳治(山口大学), 沖裕貴(立命館大学), 横田学(京都市立芸術大学), 武田正則(山形県立東根高等学校), 奥野雅和(京都文教高等学校), 林泰子(滋賀短期大学), 黒川マキ(大阪学院大学), 井上史子(タイ国立スラタニラチャパット大学), 福田隆真(山口大学)

(課題研究3) 支援技術による教育のユニバーサル化～特別支援教育の向上を目指して～

20日(水) 10:00～12:00 C会場(6220 教室)

- 2C1 特別支援教育を支援する遠隔連携システムの検討
太田容次(国立特別支援教育総合研究所), 高市幸造(愛媛大学教育学部附属特別支援学校), 亀井学(秋田大学教育文化学部附属特別支援学校)
- 2C2 特別支援学校における支援機器に関する情報提供体制の調査
金森克浩(国立特別支援教育総合研究所)
- 2C3 視覚支援を用いた百人一首の指導と効果
佐原恒一郎(千葉県立袖ヶ浦特別支援学校)
- 2C4 ポータルサイト構築による知的障害者の情報活用能力育成～成人期と学齢期の接続の研究～
木村政秀(滋賀大学教育学部附属特別支援学校), 石部和人, 大杉成喜, 田中勝彦, 辻野賢治, 西堀二郎, 三川綱一, 太田容次, 宮田仁, 黒田吉孝(滋賀大学教育学部附属特別支援学校)
- 2C5 支援技術実施計画策定におけるアシスティブ・テクノロジー・コンシダレーション方法の開発
大杉成喜(滋賀大学教育学部附属特別支援学校)

(課題研究4) 子どもの「読む・調べる」と学校図書館

20日(水) 10:00～12:00 D会場(6250 教室)

- 2D1 学校図書館司書を対象とした携帯電話対応参画型DBの開発と推薦図書データベースの作成
宮田仁(滋賀大学), 神月紀輔(滋賀大学)
- 2D2 図書館教育と情報教育の推進のための環境整備に関する調査結果
塩谷京子(静岡市立森下小学校), 堀田龍也(メディア教育開発センター)

(一般研究2) e-ラーニング

20日(水) 13:30～15:30 A会場(6153 教室)

- 3A1 ブレンディッド型e-Learningを実践した教員の指導方法変容についての考察
神月紀輔(滋賀大学), 宮田仁(滋賀大学)
- 3A2 授業支援システムを利用した授業方法の改善
坂本徳弥(椛山女学園大学)
- 3A3 テキストコミュニケーションにおける感情的な側面を支援するシステムの検討
加藤尚吾(早稲田大学), 加藤由樹(東京福祉大学), 竹内俊彦(茨城大学)
- 3A4 Web学習履歴情報の効果的な活用法の検討について
榊原伸康(中部大学大学院), 小山幸治(中部大学), 杉村藍, 武岡さおり(名古屋女子大学短期大学部), 尾崎正弘(中部大学)
- 3A5 サイバーキャンパスにおける学習履歴データの保存と活用
荒川智昭(岡山理科大学大学院), 大西荘一, 北川文夫, 榊原道夫, 河野敏行(岡山理科大学), 小池崇, 石濱末啓(岡山理科大学大学院)
- 3A6 2つの異なる利用形態による学習効果の分析
ーWeb自主学习と授業内学習におけるWeb教材の利用ー
堀口紀子(中部大学大学院), 杉村藍(名古屋女子短期大学), スリ・クンチョロ(中部大学大学院), 足立義則, 尾崎正弘(中部大学)
- 3A7 多校種間に渡るe-ラーニング教材の開発と相互利用に関する質的検討
白石紳一(埼玉県立大井高等学校), 本郷健(大妻女子大学), 須藤崇夫, 堀口真史(埼玉県立総合教育センター), 斉藤実(埼玉県立川越高校)
- 3A8 e-L倶楽部を利用した常磐大学のe-ラーニング実践
堀口秀嗣(常磐大学), 石川勝博, 寺島哲平, 北根精美, 塩雅之, 町英朋(常磐大学)

(一般研究3) FDと教師力の向上**20日(水) 13:30～15:30 B会場(6213教室)**

- 3 B 1 教育改革総合指標 (TERI) にもとづくマネジメントシステムの開発
宮浦崇(立命館大学), 野田文香(立命館大学)
- 3 B 2 教育学専攻の大学院生を対象とした学生参画型授業モデルの実践
林徳治(山口大学), 黒川マキ(大阪学院大学)
- 3 B 3 全学的教育基盤としての教育マネジメントシステムの開発(1)
～AIMS-Gifu5年間の利用状況の分析～
加藤直樹(岐阜大学), 村瀬康一郎, 興戸律子(岐阜大学総合情報メディアセンター)
- 3 B 4 教科指導における「教員のICT活用指導力」向上のための校内研修パッケージの開発
宮崎靖(富山県小矢部市立石動小学校), 高橋純(富山大学人間発達科学部), 堀田龍也(メディア教育開発センター)
- 3 B 5 大学の基礎・専門教育における情報処理と教職教育の関連についての一考察
吉江森男(筑波大学)
- 3 B 6 ITを活用したアイス・ブレイキング～新入学生を対象とした班新聞作り, 3年間の成果～
柳父立一(畿央大学), 福森貢, 宮村裕子(畿央大学)
- 3 B 7 短期大学におけるマインドマップを活用した情報教育の実践
片岡久明(南九州短期大学)

(一般研究4) 教科教育におけるICT活用**20日(水) 13:30～15:30 C会場(6220教室)**

- 3 C 1 小中学校での多様な授業でのeラーニング活用に関する実践研究
安達一寿(十文字学園女子大学)
- 3 C 2 願いを提案する模擬体験活動を位置づけた社会科学習
～6年「わたしたちの願いを実現する政治」を通して～
埴岡靖司(兵庫教育大学大学院(岐阜県山県市立高富小学校))
- 3 C 3 携帯情報端末を活用した中学校社会科の授業実践とその考察
奥村信夫(滋賀県守山市立守山中学校), 宮田仁(滋賀大学)
- 3 C 4 コンピュータ活用した生徒の思考整理を支援する指導過程の提案
山本利一(埼玉大学), 大関拓也(古河市立三和中学校), 五百井俊郎(千葉工業大学)
- 3 C 5 ものづくり意識の涵養を考慮した技術教育教材の開発
安藤久夫(岐阜女子大学), 加藤直樹(岐阜大学)
- 3 C 6 美術・図画工作科における実践指導資料のマルチメディア化
林成子(岐阜女子大学大学院)
- 3 C 7 小学生のためのウェブサイト「算数のまとめ:6年生」とe-L倶楽部
荒義明(藤沢市立善行小学校), 堀口秀嗣(常盤大学), 前田真人(電子開発学園九州衛星教育センター)

(課題研究5) ICT利用支援と情報モラル**20日(水) 13:30～15:30 D会場(6250教室)**

- 3 D 1 高等教育における情報セキュリティ・モラルについての教育カリキュラムの研究
小川勤(山口大学), 糸長雅弘, 古賀和利(山口大学)
- 3 D 2 著作権契約書作成支援システムとその課題
坂井知志(常磐大学)
- 3 D 3 学校におけるプライバシー保護等に関する調査報告
工藤典人(常磐大学), 横山隆光(岐阜県羽島市立羽島中学校)

- 3 D 4 保護者を巻き込んで体系的に進める情報モラル教育
横山隆光(岐阜県羽島市立羽島中学校)

(一般研究5) 教育支援システム

20日(水) 15:30~17:30 A会場(6153教室)

- 4 A 1 学習者のアクセスを動機づける問題演習サイトの開発
矢野口聡(松本大学松商短期大学部)
- 4 A 2 Web 上のチュートリアル型 CAI の実践上の問題点
木下昭一(聖徳大学)
- 4 A 3 オーセンティックな英語音声教材の共有化とシステムの検討
茅野潤一郎(県立新潟女子短期大学)
- 4 A 4 VPN を用いた教育支援システムの一考察
伊藤大河(東海旅客鉄道株式会社), 山本利一(埼玉大学)
- 4 A 5 出席情報システムの開発と運用開始時期における利用状況の分析
興戸律子(岐阜大学), 加藤直樹, 花瀬敏孝, 小澤喜寿(岐阜大学)
- 4 A 6 三次元 CG による藤原京の再現について
井上雄治
- 4 A 7 教育資料を共同利用, 共有化, 共同制作しやすいサイトの作成
小山万作(世田谷区立深沢小学校), 岩下幸広(学習過程研究会), 工藤哲士(東京都教育庁八丈支部),
坂井岳志(世田谷区立八幡小学校), 杉山賢次(東京都立東大和高校), 高橋康(足立区立西新井中
学校), 竹谷正明(狛江市立第一小学校), 鳥羽純(世田谷区立武蔵丘小学校), 富永哲男(さいたま市立
桜木小学校), 八木澤薫(関東学院小学校), 安池徹(日野市立潤徳小学校)

(一般研究6) 情報教育と情報モラル

20日(水) 15:30~17:30 B会場(6213教室)

- 4 B 1 高等学校普通教科「情報」における学習情報処理に関する研究
小嶋季輝(筑波大学大学院)
- 4 B 2 教科「情報」の成果と大学情報教育の変化について
福森貢(畿央大学), 柳父立一, 宮村裕子(畿央大学)
- 4 B 3 学校管理職のリーダーシップタイプと教員のコミュニケーション満足度との調和
井上史子(スラタニラチャパット大学), 林徳治(山口大学), Weerawat Utairat(Eastern Asia
University), Pongsin Viseshsiri(Chulalongkorn University)
- 4 B 4 地域社会における情報モラル教育の取り組み
林泰子(滋賀短期大学), 川野智(宇治市立南部小学校), 林徳治(山口大学)
- 4 B 5 教職課程の学生を対象にしたネットコミュニケーションにおける不適切行為に対する意識調査
加藤由樹(東京福祉大学), 加藤尚吾(早稲田大学), 竹内俊彦(茨城大学)
- 4 B 6 道徳の全体計画にみる, 各学校への浸透度の実態(平成10年版学習指導要領から)
玉野井敬治(太成学院大学)
- 4 B 7 中学校における自主性を伸ばす教育方法の開発(7)全市調査実施における分析と考察
藤本光司(宝塚市立長尾中学校), 沖裕貴(立命館大学), 福井正康(福山平成大学), 井上史子(タイ
国立スラタニラチャパット大学), 林徳治(山口大学)
- 4 B 8 情報リテラシー授業の再履修クラスにおけるニーズ分析と学習意欲向上をめざした「3I」導入の試み
笠見直子(桜美林大学)

(一般研究7) 大学での ICT 活用**20日(水) 15:30~17:30 C会場(6220教室)**

- 4 C 1 文系学生を対象としたネットワーク講義に関する意識調査からの考察
立野貴之(松蔭大学経営文化学部), 加藤尚吾(早稲田大学), 加藤由樹(東京福祉大学)
- 4 C 2 コンピュータ教育を受けた後の学習の重要性
角田真二(十文字学園女子大学)
- 4 C 3 最適意思決定に関する学習のための ICT 活用
成瀬喜則(富山商船高等専門学校)
- 4 C 4 マンガ教材作成ソフトにおけるキャラクター・データの追加と, 追加キャラクターによる物語教材の作成
竹内俊彦(茨城大学), 加藤由樹(東京福祉大学), 加藤尚吾(早稲田大学)
- 4 C 5 大学の学外実習におけるリフレクションを支援する ICT 活用方法の検討
北原俊一(十文字学園女子大学)
- 4 C 6 英文リーダビリティ測定システムの開発
福井正康(福山平成大学), 小篠敏明(福山平成大学)
- 4 C 7 中国人留学生に対する漢字変換機能を活用した日本語学習指導法の開発—実践結果と考察—
及川浩和(中日本自動車短期大学), 加藤直樹(岐阜大学)
- 4 C 8 タッチタイピング指導における視覚的映像教材の利用
齋藤真弓(山脇学園短期大学), 福島一郎(文京学院大学)

(一般研究8) 情報教育**20日(水) 15:30~17:30 D会場(6250教室)**

- 4 D 1 情報教育における「情報の科学的理解」の在り方—論理回路教材の実践を通して—
工藤雄司(筑波大学附属坂戸高等学校), 本村猛能(川村学園女子大学)
- 4 D 2 中学・高校における情報教育の実践現状とその分析
見山利香(川村学園女子大学), 西村恵利香(松戸市立金ヶ作中学校), 田中裕, 本村猛能(川村学園女子大学)
- 4 D 3 情報教育におけるレゴマインドストーム教材の活用
金塚茉莉子(川村学園女子大学), 本村猛能(川村学園女子大学), 山本利一(埼玉大学)
- 4 D 4 幼児教育へのパソコンの展開《電子紙芝居の有効性とその展望》
塚田慶一(東京成徳短期大学), 増澤文徳(東京成徳大学高等学校)
- 4 D 5 体系的情報教育の方向性と知識の構造化 —ブルーム・ペレグレーノ理論による評価—
本村猛能(川村学園女子大学), 工藤雄司(筑波大学附属坂戸高等学校), 角和博(佐賀大学), 森山潤(兵庫教育大学大学院), 山本利一(埼玉大学)
- 4 D 6 情動的なものの見方・考え方を育成する教材の開発
本郷健(大妻女子大学), 齋藤実(埼玉県立川越高等学校), 大河原広行(神奈川県立相模大野高等学校), 須藤崇夫, 堀口真史(埼玉県立総合教育センター), 佐野和夫(横浜市教育委員会)
- 4 D 7 創造性や独創性を高めるための指導方法の研究
—分散处理的な見方・考え方を学ぶ教材の提案と実践—
齋藤実(埼玉県立川越高等学校), 本郷健(大妻女子大学)
- 4 D 8 情動的なものの見方・考え方を育成するための研修
—情報の分散处理的な見方考え方の導入—
須藤崇夫(埼玉県立総合教育センター), 本郷健(大妻女子大学), 齋藤実(埼玉県立川越高校), 堀口真史(埼玉県立総合教育センター)

発表者の方へ

- ①発表申込者には、発表の可否を連絡しています。申し込みをされた方で可否通知が届いていない場合は、申し訳ありませんが実行委員会までご連絡下さい。
- ②発表を可とされた申込者は、論文の執筆要項を第24回年会HPからダウンロードして利用して下さい。
- ③論文の原稿枚数は一般研究については2枚とし、課題研究については4枚とします。発表をWebで申し込まれた方は、Webを使って原稿をお送り下さい。発表をE-mailで申し込まれた方は、申し込みと同様にE-mailによる添付ファイルとして、年会実行委員会事務局へお送り下さい。原稿は「年会論文集」の版下となります。

【論文提出締切 2008年7月7日（月）】

参加申込方法

同封の郵便振替用紙が申込書を兼ねます。必要項目を記入し、郵便局の窓口またはATM、APMで手続きください。同封の郵便振替用紙を紛失した場合、または追加用紙が必要な場合は、郵便局備付けの用紙をご利用ください。なお、期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

【参加申込締切（郵便局窓口期限） 2008年 8月4日（月）】

郵便振替口座番号 00160-5-262662

口座名 日本教育情報学会第24回年会

（学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください）

参加費

- ・会員事前申込締切日まで 参加費3,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
 - ・会員（当日）・非会員 参加費4,000円 論文集3,000円 懇親会費5,000円
- ※論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします

◎後援関係の方

東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、多摩市教育委員会、現職教員の方の参加を歓迎します。後援された教育委員会所属の方の参加費は無料とします。（論文集代は申し受けます）

当日、会場内の「年会参加証引替受付」にお越しください。

なお、東京都及び隣接県における教育情報活用にかかわる研究会には非会員で参加を希望される方に年会参加証をお送りしますので、年会実行委員会までお問い合わせください。

◎論文集の郵送申込について（年会に参加されない方）

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込をしてください。年会終了後論文集を送付いたします。

- ・論文集 3,500円（郵送費、事務諸経費を含む）

宿泊について

- ・宿泊に関しましては、各自で手配いただきますよう、お願い申し上げます。
- ・京王プラザホテル多摩は**日本教育情報学会の関係者**と伝えると、いくらかの割引ができます。直接ホテルへお伺い下さい。
- ・ホテル情報はこちらをご覧ください。
 - ◆京王プラザホテル <http://www.keioplaza.co.jp/tama/>
 - ◆ウェルサンピア多摩（東京厚生年金健康づくりセンターサンピア多摩）

http://www.kjp.or.jp/hp_65/